

## 第99回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

### 【1】－1 ごみ行政について

(資源物・ごみ収集日割表を見ても)住んでいる場所のごみ収集日がわからない。転入者は担当課に問合せをしないとごみ収集日が分からないのが課題となっている。以前から担当課に課題を指摘しているが改善がされていない。住民ファーストのごみ行政を推進してほしい。

#### ⇒【村長コメント】

しっかりと調べてもらい感謝する。ごみの話はすべてもっともだと思ふし、“検討します”で終わってしまい結局何も変えていないことになってしまう。要望内容について担当課に確認し、回答する。

#### ⇒【環境政策課コメント】

資源物・ごみ収集日割表の記載方法として、住居表示を併記してできる限りわかりやすさを追求してまいります。その他、要望事項につきましても、引き続き、課題の改善に取り組んでまいります。

### 【1】－2 がん検診について

がん検診について、検診率の目標値が分からないし、結果に対する評価があるのであれば公開した方がいい。また、「N-NOSE」(線虫がん検査)の導入検討や個人情報の適正な管理をお願いしたい。

#### ⇒【村長コメント】

指摘については分かった。個人情報まで指摘をうけるとは思わなかったが確かにそうだと思う。また気が付いたことがあれば教えてほしい。要望内容について担当課に確認し、回答する。

#### ⇒【健康増進課コメント】

「検診率」の村の目標値に関しては、「令和3年1月29日付け東海村健康づくり推進協議会紙面協議の実施について」において協議会委員に計画書案を提示しご意見をいただき、さらに令和3年度健康づくり推進協議会において、「第3次東海村健康づくり計画」の概要を説明の上、計画書を配付しており、当該計画中で、がん検診受診率の目標値を国と同様に50%としておりますことから、今年度の会議において村受診率の目標値に関して明言しておりません。受診率の実績値及び分析評価については、前年度の全実績及び今年度の9月までの実績について当該会議で報告し協議いただいております。

「N-NOSE」につきましては、医療機関や検診機関等が任意に提供する医療サービスのひとつであり、個人の希望によって受診する「任意型検診」であると認識しております。今後、「N-NOSE」の死亡率減少効果が証明され、国から「対策型検診」の検診方法として推奨された場合は、集団検診への導入を検討してまいります。

個人情報につきましては、今後は個人情報の取得に関しご本人に同意のチェックをしていただく方向で、具体的な手法について茨城県総合健診協会と調整するなど、適正な管理に努めてまいります。

## 【2】 シルバーリハビリ体操指導士会における“なごみ”の利用について

シルバーリハビリ体操指導士会では、“なごみ”を活動拠点として利用している。地域包括支援センターや障がい福祉担当が“絆”に集約されたことに伴い、“なごみ”の利用は令和5年度までと言われた。活動を継続するために代替場所について配慮してほしい。

### ⇒【村長コメント】

シルバーリハビリ体操指導士会の“なごみ”での活動は認識しているが、事務所的に使っているとは分からなかった。団体の拠点として使っているのであれば配慮したい。要望内容について担当課に確認し、回答する。

### ⇒【保険課、総合支援課コメント】

東海村シルバーリハビリ体操指導士会は、地域に根ざした活動を行うとともに、村の介護予防事業に積極的に協力くださる等、介護予防の普及啓発において重要な役割を担っていただいていると認識しております。今回の要望につきましては、引き続き安心して活動ができるよう指導士会と十分に話し合いを行った上で検討してまいります。

## 【3】 税金の納付書の送付について

事情により知人の建物の税金を肩代わりして納付している。知人に納付書を送ってもらい納付しているが、納付書を自分の所に送付してもらうことはできるか。

### ⇒【村長コメント】

納税者以外の所へ納付書を送付することは難しい。口座振替をうまく活用してもらえればと思う。

## 【4】「響」について

なごみ内の喫茶「響」について、利用者は状況が分からないが、今後の方向性について何か変更はあったのか。利用者としての意見を伝えたいと思うが連絡先も分からない。利用者の意見を聞き、「響」の存続を検討すべきだ。「響」の存続は、運営費のことも一因としてあるのではないかと考えているが、村からの助成金はどうなっているかも分からないので教えてほしい。

### ⇒【村長コメント】

「響」については、「響」を運営している家族会など色んな方に話し合ってもらってどういう形が一番いいのか決めてもらっているところだ。村はその意見を尊重したいと考えている。

利用者の方がどこに聞けばいいのかは私も答えようがない。村からは、精神障がい者の職業訓練の場としての一環で委託費が支払われているが、家族会にどのような事業を委託しているのかについて分かる資料を後でお送りする。

### ⇒【総合相談支援課コメント】

「響」（東海村精神障害者就労支援事業）については、精神障害があり就労支援が必要な方へ、就労に必要な基礎的な訓練をできる場を提供し、就労への意欲向上等を図ることを目的に実施しています。事業実施の場である「響」の運営の委託にあたり、令和4年度は次の年度予算を計上しています。委託費総額 3,126,000円（内訳 人件費 3,085,000円、保険料 26,000円、細菌検査料 15,000円）。

### 【5】－1 コロナワクチン接種について

新型コロナのワクチン接種はお金が掛かる（有料になる）とやらない人が多くなる。自衛隊に税金を使う分、コロナ対策に税金を使ってほしい。ワクチン接種を村民に呼びかけていることは伝わってこない。

#### ⇒【村長コメント】

防衛費の増額は国民の間でもいろんな意見がある。新たな税金を考えているようであるがまだ具体的に何も決まっていないのが現状である。広報紙等を通して村民にワクチン接種を呼びかけている。

### 【5】－2 東海村のPRについて

東海村ももっと色んなアピールした方がいい。干し芋だけではなくて。

#### ⇒【村長コメント】

特産物としての干し芋はアピールするが、「住みやすい」とか、他にも色々アピールするところがあると思うのでアピールしていきたい。

### 【5】－3 原発の再稼働について

タウンミーティングの案内が来た。原発は安全にできるのであれば稼働してもいいと思う。何かあれば、村民に連絡をいれてくれればいい。放射能が漏れたら、どこに避難したらいいかわからない。

#### ⇒【村長コメント】

タウンミーティングにぜひ参加してもらい、自分の原子力やまちづくりの意見を出してほしい。事業者から事故が起きた際は連絡は役場に入るので、村民への情報伝達はしっかりやっている。皆さんから避難先がわからないという話を聞くので、そのためには避難計画を早く作って理解してもらうことが必要で、訓練も一部の人しかやっていないので参加してもらうことが大事だと考えている。

### 【5】－4 村の財政状況について

村の財政は大丈夫か。

#### ⇒【村長コメント】

今のところは大丈夫だが、今後、税金が未来永劫どれだけ安定的に入って来るかわからない。ここ数年は税収が急激に落ち込むことはない。